

八瀬の伝統と文化を受け継ぎ、未来に向かってたくましく進む子

「八瀬の伝統と文化を受け継ぎ」

～八瀬に育つ子としてのアイデンティティーの確立～

- ・「八瀬で学ぶ・八瀬から学ぶ」学習を実践する。
- ・八瀬の伝統文化（葵祭り, 赦免地踊, 灯籠など）を学び, 参加する。
- ・地域行事等に参加する。

「未来に向かってたくましく進む」

- ・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた育成をはかる。
- ・情報化社会を生きるために求められる力を獲得する。
- ・生き方探求（キャリア）教育の推進をはかる。
- ・グローバル化社会に生きるために求められる力を獲得する。

目指すこども像

- みんなと一緒に進んで学習できる子
- 元気にあいさつできる子
- 自分の命とからだを大切にできる子

令和5年度重点目標

◎相手意識を持ち、相手にきちんと届くようにあいさつや話ができる子に育てる

目指す教職員像

- 子どもの幸福や自立を願い、愛情を持って関わる教職員
- 学び続け、挑み続ける教職員（すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点を持って）
- 共に学び、協力し合う教職員
- 少人数校であることの特質を活かして子ども一人ひとりに適切な支援を行うことのできる教職員
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の専門スタッフ、地域・保護者との連携・協働（チーム学校）を進めることのできる教職員
- 京都市が推進する「真のワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭、社会貢献の調和）」の視点を持って校務を遂行しようとする教職員
- 働き方改革に前向きに取り組む教職員。（働き方改革は単なる勤務時間の削減ではなく、自分の働き方のスタイルや内容を、これまで「昭和の教育のとき」から、これから「令和の教育」のあるべき姿に変えて「改革」いくこと。）

令和5年度重点目標

- ◎支援が必要な児童に対して「間違いのない支援」を教職員全員で行う。
- ◎教育DXを自分事としてを積極的に進め、児童自らが動き出す授業を創造する。
- ◎これまでの働き方を「それぞれの職の専門性で児童を育てる」という視点で見直し、自身の働き方を改革していく。

目指す学校像

- 子どもたちに未来を指向した確かな学力と社会性・豊かな人間性を育む学校
- 子どもたちの健康の保持増進と体力の向上を推進する学校
- 音楽あふれる学校
- 地域・保護者と教育の目標を共有し、それぞれと連携・協働しながら子どもへの教育を進める学校。
- 多様な情報を、広く発信する学校
- いつまでも美しい学校

令和5年度重点目標

- ◎アフターコロナの状況を踏まえて金管バンド・全校合唱等音楽に対する取組の質的向上をはかり「音楽あふれる学校」の風土を強化する。

「確かな学力」

- 1, 探求活動を通した、主体的・対話的で深い学びの実現
- 2, 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
- 3, 社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善
- 4, グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
- 5, LD等支援の必要な子どもの学力向上

「豊かな心」

- 1, 道徳教育の充実
- 2, 伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- 3, 規範意識の育成（「友だちの日」の取組を核として）
- 4, 多様性を理解する姿勢の涵養
- 5, 支え合い高め合う集団作りの推進と絆づくり

「健やかな体」

- 1, 運動やスポーツの実践と体力の向上
- 2, 保健教育の充実
- 3, 飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- 4, 安全教育の充実
- 5, 食に関する指導の推進